

**所管する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価に関する報告書
(平成23年度実績)**

相楽東部広域連合教育委員会

目 次

1	はじめに	2
2	教育委員会の活動	3
(1)	教育委員会の開催回数（定例、臨時）	3
(2)	教育委員会での審議状況	3
(3)	教育委員会の活動状況等	10
3	実施施策の評価	27
(1)	評価項目	27
(2)	施策ごとの評価	38

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法律」という。）の改正に伴い、教育委員会では毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに住民に公表しなければならないこととなりました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために、法律第27条の規定に基づき、相楽東部広域連合教育委員会が平成23年度に実施した事務事業の取り組みについて、自らその状況を点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものです。

なお、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する中定己氏（笠置町）、中井雅文氏（和束町）及び中下洋子氏（南山城村）から意見や助言をいただきました。

教育委員会としては、この点検・評価を踏まえ、今後、更に施策の充実に努めます。

平成25年1月

相楽東部広域連合教育委員会

教育委員会委員（平成25年1月1日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	井戸野 佐知子
委員長職務代理者	中 井 薫
委 員	巽 智寿代
委 員	木 村 宣
委員（教育長）	西 本 吉 生

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の開催回数（定例、臨時）

相楽東部広域連合教育委員会における会議は、原則として毎月1回の定例会のほか、必要がある場合には臨時会を開催している。

平成23年度は、定例会10回、臨時会1回の合計11回開催した。

番号	会 議 名	開 催 日
1	第 1 回定例教育委員会	平成23年 4月 1日
2	第 2 回定例教育委員会	平成23年 5月 11日
3	第 3 回定例教育委員会	平成23年 6月 16日
4	第 4 回定例教育委員会	平成23年 7月 1日
5	第 5 回定例教育委員会	平成23年 8月 30日
6	第 6 回定例教育委員会	平成23年10月 5日
7	第 7 回定例教育委員会	平成23年12月 8日
8	第 8 回定例教育委員会	平成24年 1月 24日
9	第 1 回臨時教育委員会	平成24年 2月 2日
10	第 9 回定例教育委員会	平成24年 2月 27日
11	第10回定例教育委員会	平成24年 3月 19日

(2) 教育委員会での審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条及び相楽東部広域連合教育委員会会議規則の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務について審議している。

平成２３年度は、下記のとおり合計１７件について審議した。

① 審議案件

番号	件 名	議 決 日
1	平成２３年度相楽東部広域連合立学校の各主任の承認に係る専決処分の承認について	H23. 5.11
2	平成２３年度相楽東部広域連合立学校評議員の委嘱に係る専決処分の承認について	H23. 5.11
3	相楽東部広域連合社会教育委員の委嘱に係る専決処分の承認について	H23. 5.11
4	相楽東部広域連合体育指導委員の委嘱に係る専決処分の承認について	H23. 5.11
5	相楽東部広域連合立学校給食センター運営委員会委員の委嘱に係る専決処分の承認について	H23. 5.11
6	相楽東部広域連合教育委員会表彰規則の制定について	H23. 5.11
7	平成２４年度以降使用中学校教科用図書の採択に係る承認について	H23. 8.30
8	相楽東部広域連合立小学校及び中学校修学旅行費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱	H23.12. 8
9	平成２２年度相楽東部広域連合教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書の作成について	H24. 1.24
10	相楽東部広域連合体育指導委員規則の一部を改正する規則	H24. 1.24
11	相楽東部広域連合教育委員会後援名義等の使用について	H24. 1.24
12	相楽東部広域連合教育委員会委員の辞職の同意について	H24. 2. 2
13	相楽東部広域連合教育委員会後援名義等使用承認取扱規程の制定について	H24. 2.27
14	校長及び教頭の人事異動の内申について	H24. 2.27

15	相楽東部広域連合就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱	H24. 3.19
16	相楽東部広域連合特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する要綱	H24. 3.19
17	平成24年度「連合の教育」の重点について	H24. 3.19

② 報告事項

番号	件 名	報 告 日
1	小・中学校入学式の出席の割振りについて	H23. 4. 1
2	和束町人権教育推進協議会幹事の推薦について	H23. 4. 1
3	笠置中学校給食検討委員会委員の委嘱について	H23. 4. 1
4	第26回国民文化祭和束町実行委員会委員の選出について	H23. 4. 1
5	教育委員会委員名簿について	H23. 4. 1
6	教育委員会組織図及び事務局職員名簿について	H23. 4. 1
7	相楽東部広域連合議会議員名簿について	H23. 4. 1
8	平成23年度「連合の教育」の重点について	H23. 4. 1
9	平成23年度予算の概要について	H23. 4. 1
10	平成23年度当初の行事予定について	H23. 4. 1
11	平成23年度山城地方教育委員会連絡協議会第1回理事会について	H23. 5.11
12	平成23年度相楽東部広域連合立学校の教育課程の編成について	H23. 5.11

13	平成23年度相楽東部広域連合立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	H23. 5.11
14	平成23年度在籍児童、生徒数について	H23. 5.11
15	平成23年度緊急時連絡網について	H23. 5.11
16	和東町健康福祉計画審議会委員の選出について	H23. 5.11
17	平成23年度京都府市町村教育委員会連合会定期総会・委員研修会について	H23. 5.11
18	相楽東部広域連合立小学校巡回図書司書の設置について	H23. 5.11
19	第19回山城地区租税教育推進協議会定期総会について	H23. 6.16
20	「土曜日を活用した教育の在り方」にかかる意見交換について	H23. 6.16
21	笠置中学校給食検討委員会（第8回）について	H23. 6.16
22	和東町学校給食センター運営委員会について	H23. 6.16
23	2011年度笠置町同和教育推進協議会総会について	H23. 6.16
24	平成23年度相楽地教委連教育委員会合同研修会・懇話会について	H23. 6.16
25	平成23年度中学校用教科書展示会の開催について	H23. 6.16
26	平成23年度「全国学力・学習状況調査」について	H23. 6.16
27	子どものスポーツ交流会の開催について	H23. 6.16
28	部落解放・人権政策確立要求和東町実行委員会役員の選出について	H23. 6.16
29	山城地区教科用図書採択委員会委員の選任について	H23. 6.16

30	国民文化祭応援イベント「和東夏まつり2011」の後援名義の使用依頼について	H23. 6.16
31	第61回「社会を明るくする運動」笠置町実施委員会について	H23. 7. 1
32	山城地区教科用図書採択委員会について	H23. 7. 1
33	外国語指導助手（ALT）の採用について	H23. 7. 1
34	ふるさと歴史講座について	H23. 7. 1
35	平成23年度相楽地方・山城地方中学校陸上競技大会の結果（記録）について	H23. 7. 1
36	エアコン設置等による暑さ、熱中症対策について（要望書）	H23. 7. 1
37	平成24年成人式の開催日程について	H23. 7. 1
38	南山城村社会福祉大会、南山城村ボランティア大会について	H23. 8.30
39	相楽東部広域連合議会定例会について	H23. 8.30
40	地教委教育長と府教育長との懇談会について	H23. 8.30
41	「土曜日を活用した教育の在り方」に関する調査について	H23. 8.30
42	平成23年度京都府小学校学力診断テストの結果について	H23. 8.30
43	中学校「体育大会」、小学校「運動会」の祝辞・観覧について	H23. 8.30
44	平成23年度近畿市町村教育委員研修大会について	H23. 8.30
45	平成23年度京都府市町村教育委員研修会について	H23. 8.30
46	ウォーキング大会（笠置町）の開催について	H23. 8.30

47	相楽東部広域連合参与会について	H23.10. 5
48	平成23年度市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）について	H23.10. 5
49	平成23年度相楽東部広域連合「小学校陸上運動交歓記録会」の開催について	H23.10. 5
50	笠置中学校「文化祭」について	H23.10. 5
51	平成23年度京都府小学校教育研究会社会科教育研究大会について	H23.10. 5
52	管内小・中学校オープンスクール（学校公開）について	H23.10. 5
53	平成22・23年度「京の子ども、夢・未来校」（『やましろ未来っ子』研究推進校）研究発表会について	H23.10. 5
54	神戸女子大学「旅する公開講座」について	H23.10. 5
55	和東町「少年の主張大会」について	H23.10. 5
56	第44回税制経済セミナーについて	H23.10. 5
57	相楽東部広域連合議会定例会について	H23.12. 8
58	「モラロジー生涯学習セミナー」に係る後援依頼について	H23.12. 8
59	第5回やましろ未来っ子E K I D E Nについて	H23.12. 8
60	南山城村「青少年の主張大会」について	H23.12. 8
61	平成23年度京都府中学校学力診断テストについて	H23.12. 8
62	タイ北部の洪水による児童生徒の一時受入れについて	H23.12. 8
63	「サイエンスフェスティバル in 和東」について	H23.12. 8

64	平成24年度笠置町、和束町及び南山城村消防団初出式について	H23.12. 8
65	平成23年度「我が校の自慢」について	H23.12. 8
66	夏季における教室の室温調査の結果について	H23.12. 8
67	所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（平成22年度実績）（案）について	H23.12. 8
68	財団法人京都府学校給食会の不祥事について	H24. 1.24
69	第19回相楽「少年の主張大会」について	H24. 1.24
70	第30回文化のつどいの開催について	H24. 1.24
71	インフルエンザの罹患状況について	H24. 1.24
72	平成23年度相楽東部広域連合立南山城小学校の学校医の交代について	H24. 1.24
73	平成23年度山城地方教育委員会連絡協議会教育委員研修会について	H24. 1.24
74	相楽地方教育委員会連絡協議会委員長、教育長合同会議について	H24. 1.24
75	第10回和束町人権フェスティバルについて	H24. 1.24
76	管内小・中学校卒業式の日程について	H24. 1.24
77	臨時教育委員会の開催について	H24. 1.24
78	教育委員会委員の異動について	H24. 2.27
79	「土曜日を活用した教育の在り方」検討会議（まとめ）について	H24. 2.27
80	インフルエンザの罹患状況について	H24. 2.27

81	いきいきふれあいフェスタ2012について	H24. 2.27
82	平成24年度京都府教職員の人事異動に係る事務日程について	H24. 2.27
83	管内小・中学校入学式の日程について	H24. 2.27
84	管内小・中学校卒業式の出席の割振りについて	H24. 2.27
85	相楽東部広域連合議会定例会について	H24. 3.19
86	一般教職員の人事異動内示について	H24. 3.19
87	退職教職員の辞令交付式について	H24. 3.19
88	教育委員退任式について	H24. 3.19
89	連合長と教育委員との懇談会について	H24. 3.19
90	平成24年4月2日の教育委員スケジュールについて	H24. 3.19
91	管内小・中学校入学式の出席の割振りについて	H24. 3.19
92	和東町体験交流センター図書室改修工事完了に伴う現地視察について	H24. 3.19

(3) 教育委員の活動状況等

① 学校訪問等

小・中学校等への訪問、教職員の研究発表会等に参加している。

期	日	件	名
平成23年	5月15日	オープンスクール：南山城小学校	

平成23年 6月16日	学 校 訪 問：笠置中学校
平成23年 6月16日	学 校 訪 問：南山城小学校
平成23年 6月16日	給食試食会：南山城村学校給食センター
平成23年 6月16日	施 設 訪 問：南山城村分室
平成23年 7月 1日	施 設 訪 問：笠置町分室
平成23年 7月 1日	学 校 訪 問：笠置小学校
平成23年 7月 1日	給食試食会：笠置小学校
平成23年 7月 1日	施 設 訪 問：笠置児童館
平成23年 7月13日	学 校 訪 問：和東中学校
平成23年 7月13日	学 校 訪 問：和東小学校
平成23年 7月13日	給食試食会：和東町学校給食センター
平成23年10月11日	オープンスクール：笠置中学校
平成23年10月22日	オープンスクール：笠置小学校
平成23年10月28日	研究発表会：笠置小学校
平成23年10月29日	オープンスクール：和東小学校・和東中学校
平成23年12月 1日	研究発表会：南山城小学校
平成24年 2月 2日	給食試食会：和東町学校給食センター

② 教育委員研修

京都府や山城地区の教育団体等が行う各種研修会や大会に出席して、教育委員の資質向上を図っている。

期 日	研 修 会 名
平成23年 5月 6日	山城地方教育委員会連絡協議会研修会
平成23年 5月30日	京都府市町教育委員会連合会委員研修会
平成23年 6月21日	笠置町同和教育推進協議会研修会
平成23年 7月 6日	相楽地教委連教育委員合同研修会
平成23年 8月24日	京都府町村教育長会研修会
平成23年 8月25日	京都府町村教育長会研修会
平成23年 9月15日	和束町人権教育研修会
平成23年 9月27日	笠置町同和教育推進協議会管外研修
平成23年 9月29日	部落解放・人権政策確立要求和束町実行委員会総会（研修会）
平成23年10月12日	近畿市町村教育委員研修大会
平成23年11月11日	京都府市町村教育委員研修会
平成23年11月28日	笠置町同和・人権学習公開講座
平成23年12月11日	笠置町同和・人権学習公開講座
平成24年 2月 2日	山城地方教育委員会連絡協議会教育委員研修会

平成24年 3月23日	笠置町同和教育推進協議会委員研修会
-------------	-------------------

③ 各種行事への参加

入学式及び卒業式、運動会及び体育大会、文化祭や音楽祭など各小・中学校行事や教育委員会関連行事等へ積極的に参加している。

期 日	各 種 行 事 名
平成23年 4月 1日	相楽東部広域連合教育委員辞令交付式
平成23年 4月 1日	京都府教職員離任式、着任式
平成23年 4月 7日	笠置小学校・和束小学校・南山城小学校入学式
平成23年 4月 7日	京都府自治振興課（地域活性化事例調査会）視察来訪
平成23年 4月 8日	笠置中学校・和束中学校入学式
平成23年 4月12日	笠置児童館開館式
平成23年 4月14日	体育指導委員委嘱状交付式
平成23年 4月14日	社会教育委員委嘱状交付式
平成23年 4月15日	第1回管内小中学校長会議
平成23年 4月18日	第1回相楽地方教育長会議
平成23年 4月19日	相楽地方小学校長会第1回総会
平成23年 4月20日	山城地方教育委員会連絡協議会第1回理事会
平成23年 4月20日	山城地方市町合同結核審査会運営委員会会議

平成23年 4月20日	山城地方教科用図書採択委員会会議
平成23年 4月21日	京都府内市町（連合）教育委員会教育長会議
平成23年 4月21日	当初京都府公立学校（園）長会議
平成23年 4月22日	相楽地方連合小中学校長会第1回総会
平成23年 4月26日	山城地方退職教職員表彰式
平成23年 4月26日	山城地方教育長会議
平成23年 4月27日	南山城村老人クラブ連合会総会
平成23年 4月27日	相楽地区更生保護女性会総会
平成23年 5月 6日	山城地方教育委員会連絡協議会定期総会
平成23年 5月 9日	笠置小学校支援地域本部事業会議
平成23年 5月10日	相楽地方指導主事連絡協議会会議
平成23年 5月12日	山城地方幼・小・中学校（園）長会議
平成23年 5月14日	相楽子どもの交通安全意見発表会
平成23年 5月16日	和束町交通安全対策協議会総会
平成23年 5月17日	第2回管内小中学校長会議
平成23年 5月17日	山城地区教科用図書採択委員会採択委員、専門委員合同会議
平成23年 5月20日	相楽東部広域連合議会第1回臨時会

平成23年 5月20日	和束町交通安全対策協議会街頭啓発活動
平成23年 5月24日	笠置町同和教育連絡会
平成23年 5月25日	和束町人権教育研究会総会
平成23年 5月25日	笠置小学校通学路現地状況調査
平成23年 5月26日	第2回相楽地方教育長会議
平成23年 5月26日	和束町社会を明るくする運動連絡協議会
平成23年 5月27日	新青空子ども会保護者会総会
平成23年 5月30日	京都府町（連合）教育長会定期総会
平成23年 5月30日	京都府市町教育委員会連合会教育長部会世話人会
平成23年 5月30日	京都府市町教育委員会連合会定期総会
平成23年 5月31日	相楽地方通級指導教室運営協議会総会
平成23年 6月 3日	和束小学生学習支援教室（金曜学習）開講式
平成23年 6月 3日	笠置町同和教育連絡会
平成23年 6月 3日	相楽地方中学校陸上競技大会開会式
平成23年 6月 4日	相楽地方PTA連絡協議会総会
平成23年 6月 6日	「土曜日を活用した教育の在り方」意見交換会
平成23年 6月 7日	東部ブロック人権教育研究会（新会員研修）

平成23年 6月 7日	相楽地方通級指導教室西部分室開所式
平成23年 6月 8日	笠置中学校給食検討委員会
平成23年 6月10日	笠置町さわやか会総会
平成23年 6月14日	和束町人権教育推進協議会総会
平成23年 6月15日	第3回管内小中学校長会議
平成23年 6月15日	山城地区租税教育推進協議会定期総会
平成23年 6月18日	山城地方中学校陸上競技大会開会式
平成23年 6月21日	和束町学校給食センター運営委員会
平成23年 6月21日	笠置町同和教育推進協議会総会
平成23年 6月21日	木津川を美しくする会総会
平成23年 6月22日	和束町青少年育成委員会総会
平成23年 6月23日	和束町ふるさと教育研究会（全体会）
平成23年 6月24日	新青空子ども会保護者会懇談会
平成23年 6月24日	相楽地方人権教育研究連合会総会
平成23年 6月28日	就学指導委員会総会
平成23年 6月29日	第1回管内小中学校教頭会議
平成23年 6月30日	相楽地区小中学校児童生徒結核対策委員会

平成23年 7月 1日	まなび教育推進プラン検討会議
平成23年 7月 2日	子どものスポーツ交流会
平成23年 7月 4日	和束町社会を明るくする運動連絡協議会街頭啓発活動
平成23年 7月 5日	相楽東部広域連合議会（文教常任委員会）
平成23年 7月 5日	和束町体育協会総会
平成23年 7月 6日	第3回相楽地方教育長会議
平成23年 7月 6日	笠置町社会を明るくする運動実施委員会
平成23年 7月 7日	相楽地方中学校長会
平成23年 7月 8日	京都府市町教育委員会連合会教育長部会世話人会
平成23年 7月14日	笠置町同和教育推進協議会街頭啓発活動
平成23年 7月15日	第4回管内小中学校長会議
平成23年 7月16日	笠置「ちびっこ」まつり
平成23年 7月18日	ふるさと歴史講座
平成23年 7月21日	和束町交通安全対策協議会街頭啓発活動
平成23年 7月26日	山城地方教科用図書採択委員会会議
平成23年 7月26日	東部ブロック人権教育研究会（夏季学習会）
平成23年 7月27日	相楽東部広域連合議会定例会

平成23年 7月27日	道徳教育夏季研修会
平成23年 7月27日	部落解放・人権政策確立要求和東町実行委員会街頭啓発活動
平成23年 7月29日	れんごう夏季交流会
平成23年 7月30日	京・むらまつり
平成23年 8月 3日	和東町ふるさと教育研究会（全体会）
平成23年 8月 3日	和東町人権教育研究会（夏季研修会）
平成23年 8月 4日	やまなみ大学開講式・人権啓発研修会
平成23年 8月10日	京都府教育委員会教育長との懇談会
平成23年 8月17日	第4回相楽地方教育長会議
平成23年 8月17日	相楽地方小中学校管理職（校長）研修会
平成23年 8月19日	特別支援教育研修会
平成23年 8月20日	相楽小学生ソフトボール大会
平成23年 8月22日	まなび教育推進プラン検討会議
平成23年 8月23日	国民文化祭笠置町実行委員会総会
平成23年 8月26日	南山城村図書室講座
平成23年 8月27日	南山城村社会福祉大会及びボランティア大会
平成23年 8月31日	第5回管内小中学校長会議

平成23年 8月31日	英語指導助手（ALT）辞令書交付式
平成23年 9月 1日	笠置町戦没者追悼式
平成23年 9月 6日	南山城村老人クラブ連合会ゲートボール大会
平成23年 9月 6日	和束町老人クラブ連合会ゲートボール大会
平成23年 9月 8日	「救急の日」に伴う地震災害想定訓練
平成23年 9月10日	笠置中学校・和束中学校体育大会
平成23年 9月13日	部落解放・人権政策確立要求和束町実行委員会幹事会
平成23年 9月15日	和束町選挙管理委員会ポスター審査会
平成23年 9月16日	まなび教育推進プラン検討会議
平成23年 9月16日	和束町防災会議
平成23年 9月18日	和束町「敬老・福祉の集い」
平成23年 9月24日	笠置小学校・和束小学校・南山城小学校運動会
平成23年 9月29日	部落解放・人権政策確立要求和束町実行委員会総会
平成23年10月 2日	第2回ウォーキング大会（笠置町）
平成23年10月 3日	第6回管内小中学校長会議
平成23年10月 3日	国民文化祭笠置町実行委員会会議
平成23年10月 6日	第5回相楽地方教育長会議

平成23年10月 9日	南山城村「村民体育祭」
平成23年10月15日	神戸女子大学「旅する公開講座」開講式
平成23年10月15日	山城地方中学校駅伝競走大会
平成23年10月18日	相楽地方特別支援教育研究協議会「なかよし運動会」
平成23年10月19日	相楽東部広域連合「小学校陸上運動交歓記録会」
平成23年10月19日	和東町戦没者追悼式
平成23年10月19日	国民文化祭笠置町実行委員会会議
平成23年10月20日	和東町交通安全対策協議会街頭啓発活動
平成23年10月23日	やまなみシルバーコーラス20周年記念コンサート
平成23年10月24日	相楽地方小学校長会
平成23年10月24日	和東町シニアライフサポート学級
平成23年10月25日	京都府学校給食会評議員会
平成23年10月29日	神戸女子大学「旅する公開講座」第2回講座
平成23年11月 3日	田山花踊り「奉納並びに伝統芸能発表会」
平成23年11月 4日	相楽地方通級指導教室運営協議会
平成23年11月 6日	和東町国民文化祭（茶源郷まつり）
平成23年11月 6日	笠置町国民文化祭（鍋フェスタ）

平成２３年１１月 ６日	南山城村国民文化祭（宇治茶の郷フェスティバル）
平成２３年１１月 ７日	相楽地方中学校音楽交流会
平成２３年１１月 ９日	相楽東部広域連合議会（文教常任委員会）
平成２３年１１月１０日	第７回管内小中学校長会議
平成２３年１１月１２日	神戸女子大学「旅する公開講座」第３回講座
平成２３年１１月１４日	山城地方教育長会議
平成２３年１１月１５日	京都府町村会創立９０周年記念式典
平成２３年１１月１６日	相楽地方中学校長会
平成２３年１１月１６日	まなび教育推進プラン検討会議
平成２３年１１月１７日	近畿ブロック教育長会総会
平成２３年１１月２０日	やましろ未来っ子読書大好き！フェスタ
平成２３年１１月２１日	第１回（臨時）管内小中学校長会議
平成２３年１１月２１日	長野県生坂村議会視察来訪
平成２３年１１月２２日	部落解放・人権政策確立に関する「意見交換会」
平成２３年１１月２３日	第２２回「笠置解放文化祭」
平成２３年１１月２３日	村活き生きまつり
平成２３年１１月２５日	法令外負担金に係るヒヤリング

平成２３年１１月２６日	相楽地方小学校体育連盟駅伝大会
平成２３年１１月３０日	「土曜日を活用した教育の在り方」懇談会
平成２３年１２月 １日	和東町社会福祉協議会「街を美しくする運動」
平成２３年１２月 ２日	相楽東部広域連合議会定例会
平成２３年１２月 ２日	笠置町同和教育推進協議会街頭啓発活動
平成２３年１２月 ３日	第５回やましろ未来っ子小学校E K I D E N
平成２３年１２月 ３日	第１１回和東町人権を考える集い
平成２３年１２月 ４日	南山城村「青少年の主張」大会
平成２３年１２月 ７日	笠置町同和教育連絡会
平成２３年１２月 ９日	部落解放・人権政策確立要求和東町実行委員会街頭啓発活動
平成２３年１２月１０日	和東町「少年の主張」大会
平成２３年１２月１１日	第５回お茶の里クリスマスコンサート
平成２３年１２月１６日	第８回管内小中学校長会議
平成２３年１２月１６日	教育委員会の点検・評価に係る説明会
平成２３年１２月１７日	神戸女子大学「旅する公開講座」閉講式
平成２４年 １月 ８日	笠置町、和東町及び南山城村消防団出初式
平成２４年 １月 ９日	平成２４年成人式

平成24年 1月14日	2012年部落解放同盟山城地協荊冠旗びらき
平成24年 1月18日	第9回管内小中学校長会議
平成24年 1月21日	2012年部落解放同盟笠置支部荊冠旗びらき
平成24年 1月26日	相楽地方学校保健研究大会
平成24年 1月30日	相楽地方連合小中学校長会第2回総会
平成24年 1月31日	第6回相楽地方教育長会議
平成24年 2月 3日	東部ブロック人権教育研究会交流学習会
平成24年 2月 9日	相楽地方教育委員会連絡協議会委員長、教育長合同会議
平成24年 2月 9日	山城地方教育長会議
平成24年 2月11日	第19回相楽「少年の主張」大会
平成24年 2月14日	国民文化祭笠置町実行委員会総会
平成24年 2月15日	第10回管内小中学校長会議
平成24年 2月16日	相楽東部広域連合議会（文教常任委員会）
平成24年 2月17日	相楽地方小学校長会
平成24年 2月19日	南山城村「第30回文化のつどい」
平成24年 2月21日	相楽地方指導主事連絡協議会会議
平成24年 2月24日	やまなみ大学閉講式

平成24年 2月27日	南山城村学校給食センター運営委員会
平成24年 2月29日	相楽東部広域連合議会定例会
平成24年 3月 1日	和束町交通安全対策協議会街頭啓発活動
平成24年 3月 3日	笠置いきいきふれあいフェスタ2012
平成24年 3月 4日	相楽中部消防協議会合同訓練
平成24年 3月 6日	笠置中学校給食検討委員会
平成24年 3月 6日	和束町健康福祉計画審議会
平成24年 3月 7日	体育指導委員会
平成24年 3月 8日	笠置町さわやか会閉講式
平成24年 3月 8日	相楽地方小学校長会第2回総会
平成24年 3月 9日	社会教育委員会議
平成24年 3月11日	第10回和束町人権フェスティバル
平成24年 3月12日	笠置中学校3年生卒業前講話
平成24年 3月14日	笠置中学校、和束中学校卒業式
平成24年 3月14日	文化財保護委員会
平成24年 3月14日	一般教職員人事異動内示書渡し
平成24年 3月15日	国立教育政策研究所視察来訪

平成24年 3月15日	和束町路線バス等対策協議会会議
平成24年 3月15日	第11回管内小中学校長会議
平成24年 3月16日	管理教職員人事異動内示書渡し
平成24年 3月18日	木津川市制施行5周年記念式典
平成24年 3月19日	笠置小学校・和束小学校・南山城小学校卒業式
平成24年 3月21日	和束町PTA連絡協議会との懇談会
平成24年 3月24日	笠置を語ろう「待ちに待った成人式」
平成24年 3月26日	笠置町同和教育連絡会
平成24年 3月30日	退職一般教職員辞令交付式
平成24年 3月30日	相楽東部広域連合教育委員退任式
平成24年 3月31日	南山城村体育協会長杯小学生男子ソフトボール大会

④ 連合長等との意見交換

教育長は、事務局の長として常日頃から連合長・副連合長・参与と連携を図っている。

期 日	各 種 行 事 名
平成23年 8月16日	正副連合長・参与との会議
平成23年 9月 1日	正副連合長との会議
平成23年 9月29日	参与会

平成２３年１２月　９日	連合長との懇談会
平成２３年１２月１４日	副連合長との懇談会
平成２４年　２月　２日	連合長との懇談会
平成２４年　２月１７日	正副連合長との会議
平成２４年　３月３０日	連合長との懇談会

3 実施施策の評価

(1) 評価項目

重点目標		重点項目	重点項目の内容	所 管 課
(1)	質の高い 学力をは ぐくむ	① 基礎・基本 の定着	少人数教育のよさを活かした学習支援など、基礎・基本の確実な定着を図る取組の推進 「全国学力・学習状況調査」、「京都府学力診断テスト」などを活用した個に応じた指導の充実及び授業改善 「中1 振り返り集中学習（ふりスタ）」などを活用した振り返りの学習活動や体験的な学習など、基礎・基本の徹底、	学校教育課
		② 活用する 力の育成	知識・技能を活用する学習活動の充実 知的活動やコミュニケーション活動の基盤となる「ことばの力」の育成 デジタル教材や「算数ナビツアー」など、学習支援教材の活用 家庭と連携した学習習慣の定着に向けた取組の充実 言語活動の充実を図る取組の各教科・領域の年間指導計画への位置づけ、	
		③ 学習意欲 の向上	思考力・判断力・表現力などの育成 研究者や社会人の専門性、地域の人的資源等を活かした授業の実施 管内5小・中学校が連携し、一体となって質の高い学力をはぐくむ取組の推進	
(2)	規範意識、他人を思いやる心、ふるさとを	① 規範意識の醸成	全教職員で推進すべく道徳教育の推進体制の整備及びその全体計画や年間指導計画、指導方法の工夫改善 「京の子ども 明日へのとびら」をはじめ効果的な資料の活用や体験活動を	学校教育課

	愛する心 など豊かな人間性 をはぐくむ	② 他人を思いやり、尊重する心の育成 ③ 豊かな感性や情緒の育成 ④ 地域の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成	活かした多様な指導による心の教育の充実 多様な学習活動による児童生徒の心に響く道徳の時間の展開 学級活動・HR活動や道徳の時間での指導、非行防止教室などの活用及び家庭との連携による規範意識の醸成 我がふるさとを誇りに思い、我がふるさとを愛する児童生徒の育成 ものづくり体験活動や自然・文化体験活動などの充実 「KYO発見 仕事・文化体験活動」 「京のこども夢大使派遣事業」などの事業を活用し、京都や地域の伝統や文化を学ぶ機会の充実 3町村の「国民文化祭・京都 2011」の取組などを活かした伝統文化、芸術文化活動の充実	
(3)	たくましく健やかな身体をはぐくむ	① 体力の向上 ② 健やかな身体の育成	小学校体育授業での「京の子ども元気なからだスタンダード」の活用と各校の実態に応じた子どもの体力・運動機能の向上に係る取組の推進 生涯にわたって体育・スポーツ活動に親しむことができる環境づくり 地域の指導者の活用などによる体育及び運動部活動の充実 スポーツに関して優れた資質を持つ子どもたちの発掘と一貫した指導システムによる競技力の向上 学校保健計画に基づく保健学習と保健指導の充実 喫煙・薬物乱用の防止、生活習慣病の予防など健康に関する現代的課題への適切な対応 地域や家庭と連携した食育の推進及び食に関する指導計画に基づく教科横断的な指導の充実	学校教育課

(4)	一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす	① 小規模校の特性を活かした“相楽東部ならではの”の学校づくり ② 人権教育の推進 ③ 特別支援教育の推進 ④ 幼児教育の推進 ⑤ キャリア教育の推進 ⑥ 読書活動の推進	地域の自然、人材、組織、機関などの資源の積極的な活用 地域の実情に応じた教育システムの構築、“相楽東部ならではの”の学校づくり、小規模校及び複式形態の特性を活かした教育活動の推進 基本的人権や同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培う取組の充実 4つの観点（人権としての教育、人権についての教育、人権のための教育、人権を通じての教育）に基づいて展開する人権教育の具体的取組 京都府作成の人権関係資料を活用するなど人権教育を推進していくための認識の深化と指導力の向上 特別支援学級の充実、特別支援教育指導員の配置、相楽通級指導教室の積極的な活用など、特別支援教育の一層の推進 校内委員会や特別支援教育コーディネーター等の校内組織を充実し、各特別支援学校の地域支援センターなどを活用して、発達障がい等を含む特別な支援を必要とする子どもの支援 「もうすぐ1年生」体験入学事業を活用するなど、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続 キャリア教育を年間指導計画に位置付けての積極的な推進 「京都府子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）」を踏まえ、家庭、地域の人材、公共図書館などと協力した読書活動の取組の具体化 図書の増加、配置された図書館司書の積極的活用による読書活動の充実	学校教育課
-----	------------------------	---	--	-------

(5)	社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ	① 国際理解教育の推進 ② 情報教育の推進 ③ 環境教育の推進 ④ 世界に発信し行動できる人材の育成 ⑤ 公共の精神やリーダーシップをはぐくむ教育の推進	A L Tの活用、交流体験などによる異文化を理解・尊重する資質や能力の育成 小学校における外国語活動、中学校における英語教育の充実 情報通信ネットワークやコンピュータなどの情報手段を活用する能力の育成及び情報に関するルール・マナーの徹底 情報モラルに係る教員研修など、情報教育の指導力を向上させる取組の推進 小・中学生対象の「環境出前講座」を行うなど、校種間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携した環境教育の推進 最先端で活躍している人材からの直接指導による将来のスペシャリストの積極的な育成 ボランティア活動や集団活動などを通じた社会に貢献する心やリーダーシップの育成 社会や経済の仕組みを理解し、積極的に社会とかかわる資質と能力を有する人材の育成	学校教育課
(6)	学校の教育力の向上を図る	① きめ細かな指導体制の充実 ② 生徒指導の充実	「子どものための京都式少人数教育」や弾力的な講座編成を活かした、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導方法の工夫改善 スクールカウンセラーなどと連携した教育相談の充実 いじめ・暴力行為・不登校の未然防止や早期発見・早期対応 生徒指導の機能（自己存在感・共感的理解・自己決定の場）を活かした教育活	学校教育課

		③ 教員が子どもと向き合える環境づくり ④ 教員の資質・能力の向上 ⑤ 校種間連携の充実 ⑥ 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくり	動の展開 「地域見守り隊」の積極的活用や生徒指導体制の充実 児童虐待の早期発見、関係機関との連携による必要な支援 教員相互の連携・協働を進める方法を工夫し、教員が一人一人の子どもと向き合う時間の一層の確保 児童生徒の実態把握と分析を進め、課題の解決に向けた校内研修の充実 相楽東部広域連合教育委員会による研究指定の積極的活用 体験入学や交流活動など、校種を越えた取組の推進 出前授業、出前講座、クラブ指導など小・中連携の一層の推進 学校から家庭や地域社会への積極的な情報発信及び学校関係者評価の充実 地域の多様な人々が教育にかかわる「学校支援地域本部事業」や「京のまなび教室」等の充実	
(7)	安心・安全で充実した教育の環境を整備する	① 学校危機管理・安全対策の充実 ② 学校施設整備の充実	危機管理能力を育成するための安全教育の計画的な実施 「幼児児童生徒を凶悪な事件から守るための手引 新改訂版」を活用した学校独自の「危機管理マニュアル」の検証 学校施設の改修等中・長期的な計画の策定とともに、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた、安全で安心に学習できる教育環境づくりの推進	学校教育課

		③ 質の高い教育環境づくり	配置された図書館司書の活用、計画的な図書館整備等による学校図書館の教育的機能の充実	
		④ 子どもの就・修学支援の充実	家庭の経済的な理由で子どもの学習機会がそこなわれることのないよう、就・修学制度の周知・徹底	
(8)	すべての教育の出発点である家庭教育を支援する	① 親のための学習活動支援の充実	子どもの生活習慣の確立や豊かな心の育成のための親の学習支援への理解と協力 就学前の子どもを持つ親の学校理解を深め、信頼関係を築く「親のための応援塾」の充実に向けたPTAとの協力体制の確立	学校教育課 生涯学習課
		② 家庭教育に係るサポート体制の充実	児童虐待を防止するための「児童虐待早期発見のための気付きチェックリスト」の活用、相楽東部広域要保護児童対策地域協議会などの関係機関との連携及び教職員研修の充実	
(9)	地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる	① 地域社会の力を活かした活動の充実	地域の人材を活かした、障がいのある子どもも一緒になって参加する体験活動や学習活動を行う「京のまなび教室」への理解と協力	生涯学習課
		② 地域社会による学校支援活動の充実	「学校支援地域本部」など学校における学習活動、安全確保、環境整備等で活躍する地域ボランティアとの連携協力	
		③ 子どもの健全育成のための環境づくり	子どもの読書に対する興味や関心を高めるための、地域の読書ボランティアの積極的な活用 子どもの健全育成に向けた学校・家庭・地域社会・関係諸機関のネットワークの充実	

(10)	生涯学習 社会の実 現に向け て学習環 境を充実 させる	① 地域の力を活かした生涯学習環境の充実 ② 生涯スポーツ環境の充実 ③ 生涯学習施設との連携及び指導者の養成	まなび塾やあそび塾など地域の特色を活かした体験活動の充実 地域住民対象の生涯学習講座の充実 子どもから大人まで生涯にわたってスポーツに親しむための学校体育施設の開放や地域指導者との連携によるスポーツ指導の充実 「京都府スポーツ振興計画」に基づく総合型地域スポーツクラブとの連携推進 子どもたちの体験活動・学習活動を充実させるための公立の図書館、少年自然の家、郷土資料館及び町村（広域連合）立の社会教育、生涯学習関連施設等の積極的な活用	生涯学習課
(11)	生涯学習 の振興	① 住民のニーズや現代社会に対応した学習活動の充実 ② 生涯学習における指導者の養成と確保 ③ 社会教育委員会をはじめとする社会教育関係団体等との連携	乳幼児・青少年教育・成人教育事業、高齢者いきいき事業など生涯の各時期に応じた学習機会の充実 生涯学習・社会教育における指導者の養成と学習の成果を活かす場や機会の充実 多様な学習ニーズに対応するため、他の行政機関、NPOなど民間の教育活動も視野に入れた生涯学習推進体制の充実 国際理解、環境問題、情報モラル・リテラシー、男女共同参画の推進などの現代的課題に関する学習活動の充実 青少年育成委員会、文化・体育協会など生涯学習の充実に重要な役割を担う社会教育団体に対する適切な指導・助言と情報提供	生涯学習課

		④ 社会教育施設等の機能を充実させ、効果的に活用	3 町村の社会教育施設の機能の整備と、他の施設の効果的な活用 各図書室の施設整備の充実、連携による利用者の拡大 広報紙やHP, IP 告知端末などを活用した地域住民への情報提供と相談体制の充実	
		⑤ 生涯学習における学びのネットワークづくりの整備・充実	伝統文化の理解と継承、芸術の鑑賞や創作活動など、地域における多様な文化活動を支援、その成果を発表する機会の提供 3 町村の文化財の保護・調査及び積極的な活用の促進 地域住民の学習ニーズに応えるための視聴覚資料の整備・充実	
		⑥ 生涯にわたってスポーツに親しむ「生涯スポーツ社会」の実現	「第26回国民文化祭・京都2011」の成功に向けた住民啓発と地域の特色を活かした文化活動の促進 地域住民が体力や年齢、技術、興味、目的に応じて「いつでも」「どこでも」「いつまでも」主体的にスポーツに親しむことができる生涯スポーツの推進	
(12)	家庭の教育力の向上	① 子育てに関する各種講座を充実させ、親の学習活動を支援 ② 保護者同士の交流、地域の人との関わりを軸に、サポート体制を強化	子育て・親育ち講座など、豊かな人間性（生命尊重、思いやり）をはぐくむ家庭の教育力を高めるための学習機会の充実 地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成 子どもの食習慣をはじめとする基本的な生活習慣の確立に向けた取組の推進 就学前の子どもを持つ親の子育ての悩みや不安をやわらげ、親同士のつながりを促進する「親のための応援塾」「ほっとサロン」など身近な場での交流や相談活動などサポート体制の充実	生涯学習課

		③ 家庭における読み聞かせなど読書活動を推進	親子ふれあい事業、親子交流会など、子どもが「包み込まれているという感覚」を実感できるような機会の提供 父親のための子育て講座をはじめ父親の育児参加、家庭教育参加を促す具体的取組の推進 幼児期からの読み聞かせをはじめ、「京都府子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）」を踏まえた家庭における読書習慣の確立に向けた取組の推進 親のPTA活動などへの積極的な参加促進とPTA活動の充実に向けた支援 地域ごとに異なる課題の解決に向けた子育てサポーターリーダーなどの養成と活用	
(13)	地域社会の教育力の向上	① 家庭・学校・地域の連携を強化し、社会総がかりで子どもをはぐくむ ② 地域力再生に向けた取組の推進 ③ 地域の文化や歴史に触れ、ふるさとを愛する心を養う	地域の人々が気軽に集い、自発的に学習活動ができる環境の整備 地域の人々の絆を強めるための地域力再生に向けた取組の推進 多様な生涯学習の成果を活かせる場や機会の提供など、地域の教育力向上に向けた取組の推進 社会総がかりで子どもをはぐくむべく学校、家庭、地域社会及び関係諸機関・団体とのネットワークの強化 自然、伝統、文化をはじめとする地域の特色を踏まえた、様々な人々との交流によるボランティア活動や自然体験活動などの充実 「京のまなび教室」（あそび塾やまなび塾など）による豊かな体験活動・学習活動の充実と児童間交流や世代間交流	生涯学習課

		④ 学習成果を活かす場や機会の提供	の推進 地域住民による学習活動、安全確保、環境整備などの支援を行う「学校支援地域本部」の充実と地域コーディネーターの資質向上 地域の課題の解決に向けた子育てサポーターやボランティアの養成 地域の歴史や文化の特性を活かした資料の調査収集や展示、講習会などの推進 文化財愛護や郷土を愛する心の育成、地域の文化財を次代へ引き継ぐための普及啓発 読書ボランティアの活動情報の発信による子どもの読書活動推進 社会教育施設や学校の活用、関係団体との連携による子どもの安全・安心な場づくり	
(14)	人権教育の推進	① 同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を深める ② 実践につながる自発的な学習活動の促進	生涯学習の視点に立って、生命の尊さ、個性の尊重、他人との共生など人権尊重の理念や、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、患者等といった様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会の充実 学校、家庭、地域社会、職場など身近な生活の場における、あらゆる人権問題の解決に向けた学習活動の促進と、人権尊重を日常生活の習慣として身に付け実践できる態度をはぐくむことができる取組の推進	生涯学習課

	③ 人権をテーマにした取組を工夫し、住民への啓発に努める	障がいのある人の自立と社会参加の促進や、女性、高齢者などそれぞれの立場の人々の自己実現に向けた学習活動の支援 様々な人々との交流による人権尊重の心を培う機会として、青少年を対象とするボランティア活動や自然体験活動など多様な体験活動の一層の充実 地域の実情を踏まえた学習教材の充実と、参加型学習を中心とする「人権学習資料」等の効果的な活用など学習内容や方法の工夫改善 あらゆる人権問題の解決に向けた学習活動の活性化を図るための、社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上に向けた指導者研修の充実 人権月間を中心としたイベントや街頭啓発、啓発パネルの展示等による人権啓発活動の充実 管内各地域での学習活動を効果的に推進するため、学校、家庭、地域社会及び関係諸機関、推進協議会などの団体と連携した総合的な取組の促進 人権教育・人権啓発事業の学習活動を通じた3町村の住民相互交流の促進
--	-------------------------------------	---

以下、各目標の自己評価については、次の4段階で評価している。

A：計画どおりの成果が得られた。（80％以上）

B：概ね目標は達成できた。（60％～80％）

C：課題を残し、目標も十分達成できなかった。（40％～60％）

D：具体的な成果はなかった。（40％未満）

(2) 施策ごとの評価

目 標	質の高い学力をはぐくむ
重 点 項 目	① 基礎・基本の定着 ② 活用する力の育成 ③ 学習意欲の向上
成 果 ・ 課 題	・ 3年目を迎える本年度は、「連合の教育」を軌道に乗せるため、小規模校の特性を活かした“相楽東部ならではの”教育の一層の推進、質の高い学力と豊かな人間性の育成、各小中学校の一層の活性化（元気な子ども・元気な教師、対外的に活躍する学校づくり）などを進めた。 ・ 本年度は、東日本大震災により「全国学力・学習状況調査」は実施されませんでした。が、「京都府学力診断テスト」などを活用し、学力向上プログラムの改善、学力や学習状況に応じた指導の工夫改善、習熟度に応じた指導、ティームティーチング、課題のある児童生徒への具体的な対応などに力を入れた。 ・ 笠置中学校では、スーパー少人数授業と題し、生徒5名の講座を開講して苦手教科の克服に努めた。和束中学校では、7時間目にフォローアップの時間を設定して個別指導を行った。 ・ 各校の状況に応じて、中1振り返り集中学習（ふりスタ）、チャレンジ学習、小学生学習支援教室（金曜学習）を実施した。 ・ 児童の教科理解を深めるため、3小学校へモデル的にデジタル教材（国語等）を導入した。 ・ 家庭と連携した学習習慣の定着に向け、小学校では、「家庭学習のしおり」「家庭学習の手引き」を各家庭に配布した。
自 己 評 価	A
評価委員の意見等	・ 3町村により広域連合教育委員会が発足して3年目を迎えたが、教職員の熱い思いの中で「連合の教育を軌道に乗せる」「小規模校の特性を活かし、相楽東部ならではの教育を進める」という目標に一丸となって取り組まれ、相楽東部の小中学校の学力アップに繋がったことは大変喜ばしいことである。特に、中学校の国、数、英、理のテスト結果が全国平均より上回ったことは大きな成果である。各学校におけるスーパー少人数授業や7時間目のフォローアップ、ふりスタ学習、チャレンジ学習などは引き続き実施されたい。また、家庭と連携した学習習慣の定着の取組は、家庭学習のしおりや手引きを各家庭に配布するに止まらず、PTAでの資料としても活用されたい。 ・ 「全国学力・学習状況調査」は実施されなかったが、「京都府学力診断テスト」等を活用され、学力向上に取り組まれたことを評価します。なお、課題のある児童生徒については、引き続き対応されたい。

目 標	規範意識、他人を思いやる心、ふるさとを愛する心など豊かな人間性をはぐくむ
概要・方向	① 規範意識の醸成 ② 他人を思いやり、尊重する心の育成 ③ 豊かな感性や情緒の育成 ④ 地域の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成
成果・課題	・全教職員で推進すべく道徳教育の校内体制を整備するとともに、道徳教育研究会による「心の教育研修会」を開催した。 ・「京の子ども 明日へのとびら」をはじめ効果的な資料等を活かした多様な指導による心の教育の充実に努めた。 ・社会のきまり、ルールを守ることの意義と重要性について、学級活動やHR活動、道徳の時間を活用して繰り返し指導し、規範意識の醸成に努めた。 ・少子高齢化、過疎化が進む地域の特性に鑑み、小学校社会科副読本等を活用し、「我がふるさとを誇りに思い、我がふるさとを愛する児童生徒」の育成に努めた。 ・『相楽東部ならでは』の自然・文化体験活動やものづくり体験活動として、「カヌー体験」「茶摘み体験・お茶学習」の取組を進めた。 ・「KYO発見 仕事・文化体験活動」「京のこども夢大使派遣事業」を活用し、京都や地域の伝統や文化を学ぶ取組を進めた。 ・3町村の「国民文化祭・京都 2011」の取組などを活かした伝統文化、芸術文化などの充実に努めた。
自己評価	A
評価委員の意見等	・社会科副読本等の活用により、我がふる里を知ると同時にふる里を愛する子どもづくりは非常に良いと思う。 ・子どもの時に受けた教育は、忘れることなく身に付くものである。弱者へのいたわり、お年寄りを敬う心、両親への感謝の心、小規模校であるがゆえ、ひとりひとりに目が届きやすい良い環境にある。これを活かした教育を今後も継続されたい。田舎育ちと言われる東部3町村の子どもたちであるが、遊びを見た時に一人で出来るゲームや家の中での遊びという、いわゆる都会の子どもと変わらない子どもが多いように思う。そうした手先の感覚、脳を使うという遊びも必要であると思うが、体を使い、自分が生まれ育った所にどんな新しい発見があるのか、自分の近くにあるもので面白い遊びが出来ないかなどを見つけることは、興味のある子どもにとってはワクワクすることだと思う。それが学校の授業でも活かされるはずである。自然の中から授業に結び付け、よりたくましく、より想像力のある子どもに育ててほしいと願うものです。地域の方々の協力と保護者との連携に期待します。

目 標	たくましく健やかな身体をはぐくむ
概要・方向	① 体力の向上 ② 健やかな身体の育成
成果・課題	・児童生徒の運動能力、競技力の向上を図るため、小学校陸上運動交歓記録会を開催した。今後、開催場所の変更等を含め、運動能力の向上に係る新たな手法を検討する必要がある。 ・小学校体育授業等における「京の子ども元気なからだスタンダード」の活用に向けて検討を進めた。今後、各校の実態に応じた効果的な活用を検討する必要がある。 ・本年度から笠置中学校において学校給食を実施した。最初は、配膳に時間を要したが、慣れとともに安全面、衛生面における問題もなく、常態化し、安定した。ただ、献立によっては残滓があることから、食育の推進及び食に関する指導計画に基づき、家庭との連携を一層進める必要がある。 ・喫煙、薬物乱用などの防止、各種の感染症や生活習慣病の予防など健康に関する現代的課題への対応及び健康相談の充実に努めた。
自 己 評 価	B
評価委員の意見等	・少子化の進む3町村で小学校陸上運動交歓記録会の開催は、競争意識の向上につながり良いと思う。 ・学校給食の実施とともに食育の大切さ、生徒や家庭の理解による連携が大切と思う。 ・「京の子ども元気なからだスタンダード」の活用による小学校体育授業の検討を進めてください。 ・肥満傾向が多い現代の子どもたち。豊かになって食べ物の選択、好き嫌いが多。学校給食では、年齢や体にあった栄養と分量が計算されて献立されているが、家庭では家族構成も違う中で同じようにはいかないと思うが、不規則にならないよう、偏った食事にならないように保護者懇談会を利用して家庭への指導に努められたい。 ・陸上運動交歓記録会を開催しているとあるが、結果だけに終わらず、その数値をどう活かすのかも検討する必要がある。 ・笠置中学校の給食食べ残しが多いということであるが、なぜ、こうした分量なのか、なぜ、この食材が出されるのかなどを勉強するために現場を見学し、直接、栄養教諭から学ぶという授業も必要である。 ・和東小学校では、食生活改善推進委員会の協力を得て、調理実習をされている。このような学習方法を各学校で取り入れられたい。

目 標	一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす
概要・方向	① 小規模校の特性を活かした“相楽東部ならではの”の学校づくり ② 人権教育の推進 ③ 特別支援教育の推進 ④ 幼児教育の推進 ⑤ キャリア教育の推進 ⑥ 読書活動の推進
成果・課題	・笠置小学校の児童数が減少し、複式による学級編成が余儀なくされたが、少人数のよさや地域の特性を活かした教育活動を展開することとし、笠置町の意向に沿って講師を複式学級に配置した。 ・人権教育における具体的取組については、4つの観点（人権としての教育、人権についての教育、人権のための教育、人権を通じての教育）に基づいて展開した。 ・3町村の「人権教育・啓発推進計画」を踏まえ、あらゆる教育活動を通して人権教育を推進するとともに、独自の「人権教育研究会」などを開催し、保育園、小学校及び中学校の取組の実践交流を図った。 ・特別支援学級の充実、特別支援教育指導員の全校配置、相楽通級指導教室の積極的な活用など、9年間を見通した児童生徒への支援体制の強化に努めた。 ・「就学指導委員会」及び「特別支援教育推進委員会」による広域的な研修を実施するとともに、障がいのある児童生徒一人一人を大切にする特別支援教育を進めた。また、夏休みに「れんごう夏季交流会」を開催した。 ・「もうすぐ1年生」体験入学事業を活用するなど、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を進めた。 ・勤労体験や職場訪問等の経験を充実させ、児童生徒が自己の能力、適性、興味、関心等を的確に把握して自己表現ができるようキャリア教育を積極的に進めた。 ・小学校図書館のセンター機能の充実と活用を図るため、巡回図書館司書を配置した。
自己評価	A

評価委員の 意見等	・小さい時から本に関心を持つ環境づくりが大切と思う。 ・就学指導委員会及び特別支援教育推進委員会による広域的な研修会を実施され、障がいのある児童生徒一人一人を大切にする特別支援教育を進めているとあるが、今後も継続されたい。 ・「もうすぐ1年生」体験入学事業の実施回数を増やしていけるよう検討されたい。 ・巡回図書館司書の配置により、図書の利用件数が増えていることから、今後も引き続き配置されるよう要望する。 ・笠置小学校が複式学級編成となっているが、習得する科目によっては学年単位で学習するほうが良いと考える。笠置町の意向に配慮し講師を配置され、学年単位の学習ができる環境が出来たことは良いことである。今後、状況の変化によって町村とも連携しながら学校運営をされたい。 ・各学校に巡回図書司書を配置したことで図書の貸し出し数が増加したことは良いことである。子どもたちが本と親しみ、教科書の読解力にもつながると言う観点から、今後が楽しみである。専門家の配置によって図書の活用方法がうまくできている。
----------------------	--

目 標	社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ
概要・方向	① 国際理解教育の推進 ② 情報教育の推進 ③ 環境教育の推進 ④ 世界に発信し行動できる人材の育成 ⑤ 公共の精神やリーダーシップをはぐくむ教育の推進
成果・課題	・ A L T の活用による小学校における外国語活動、中学校における英語教育の充実に努めた。今後、A L T の学校間交流などによる国際理解教育を一層進める必要がある。 ・ 情報通信ネットワークやコンピュータなどの情報活用の手段やルール・マナーの指導を徹底できるよう、情報モラルに係る教員研修や情報教育の指導力を向上させる取組を進めた。 ・ 管内小中学校が校種間や家庭、地域社会、関係諸機関と連携した環境教育を推進した。
自 己 評 価	B
評価委員の意見等	・ これからの社会では、情報通信ネットワークやコンピュータなどの情報活用がより必要になるので、積極的に推進してください。

目 標	学校の教育力の向上を図る
概要・方向	① きめ細かな指導体制の充実 ② 生徒指導の充実 ③ 教員が子どもと向き合える環境づくり ④ 教員の資質・能力の向上 ⑤ 校種間連携の充実 ⑥ 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくり
成果・課題	・「子どものための京都式少人数教育」や弾力的な学級編成を活かし、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導を進めた。 ・いじめ・暴力行為・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に努めている。不登校児童数は、南山城小学校1名、生徒数は、笠置中学校5名、和束中学校2名である。引き続き、スクールカウンセラーなどと連携した教育相談の充実を図るとともに、児童生徒一人一人が「周りから包み込まれているという感覚」を実感させる学校経営・学級経営を進める必要がある。 ・教員が一人一人の子どもと向き合う時間を一層確保するため、教員相互の連携・協働を進める方法・工夫を検討した。 ・教員の資質・能力の向上を図るため、独自の「教職員夏季研修会」を開催するとともに、連合教育委員会による研究指定の積極的な活用を奨励した。 ・各校が校種を越えて連携し、中学校区における「めざす児童生徒像」の育成に向け、一体となって取組を進めた。 ・新聞や学校のHPを通じて家庭や地域社会に対して、積極的に情報発信するとともに、地域住民の力を活用して、保護者や地域社会から信頼される学校づくりを進めた。また、積極的に学校公開を実施した。
自己評価	B
評価委員の意見等	・教員の資質・能力の向上と家庭との連携が大切であると思う。 ・相楽東部広域連合管内の学校で不登校児童生徒がいますが、いじめではないと把握されています。いじめ問題については、マスコミ等で日々報じられていますので、今後も保護者と連携を密にしながら、いじめ撲滅に心がけてください。また、不登校児童生徒への教育向上に努力されたい。 ・教師が一人一人の子どもと向き合う時間を確保するための努力、研究をされていることで、いじめや暴力行為などの未然防止や早期発見に繋がっていると思う。先生方の努力に敬意を表します。なお、不登校の児童生徒がいるが、教師・カウンセラー・保護者との連携を密にして、一日も早く登校できるよう努めてください。

目 標	安心・安全で充実した教育の環境を整備する
概要・方向	① 学校危機管理・安全対策の充実 ② 学校施設整備の充実 ③ 質の高い教育環境づくり ④ 子どもの就・修学支援の充実
成果・課題	・東日本大震災の教訓を活かし、「釜石の奇跡・石巻の悲劇」から学び、自らの命を守る、自らの安全を確保する「危機管理能力」を育成に努めた。 ・災害安全、交通安全及び生活安全の３領域の計画的な実施を進めた。 ・各校独自の「危機管理マニュアル」の再検証を進めるとともに、安全・安心に学習できる教育環境づくりに努めた。 ・平成２２年度に和束中学校の耐震補強事業が完了した段階で、管内学校施設の耐震化率は１００％となったが、本年３月１１日の東日本大震災の時、校舎の天井が落ちるなど非構造部材の被害が起きたことから、本年度は、この対策に向けた取組の検討を進めた。 ・小学校図書館のセンター機能の充実と活用を図るため、巡回図書館司書を配置し、指導と環境整備（図書及び資料の充実）を具体的に進めた。 ・家庭の経済的な理由で子どもの学習機会がそこなわれることのないよう、就学援助制度の周知・奨励に努めた。
自 己 評 価	A
評価委員の意見等	・東部３町村の学校施設の耐震化率が１００％となったことは安心であるが、東日本大震災の教訓を活かし、授業中に災害が起こったことを想定して、防災避難訓練等を実施するなど、素早く対応できるよう訓練されたい。また、住民との合同避難訓練の実施について、どう活用するか町村ともよく協議されたい。 ・笠置小学校の火災の際にも避難訓練が前日にあり、日頃の安全教育の大切さを痛切に感じた。

目 標	すべての教育の出発点である家庭教育を支援する
概要・方向	① 親のための学習活動支援の充実 ② 家庭教育に係るサポート体制の充実
成果・課題	・就学前の子どもを持つ親の学校理解を深め、信頼関係を築く「親のための応援塾」の充実に向けたPTAとの協力体制を確立した。 ・児童虐待を防止するため、相楽東部広域要保護児童対策地域協議会などの関係機関との連携及び教職員研修の充実に努めた。
自 己 評 価	A
評価委員の 意 見 等	・PTAとの連携により、親として「如何にあるべきか」学校と親が理解し、信頼関係を築くことが大切である。 ・生活習慣の確立や豊かな心の育成というものは、家庭教育の中で確立されるが、最近では、両親の共働きが多く、ほとんどの子どもは就学前に保育園での集団生活を体験している。保育園とも連携し、「親のための応援塾」への参加者が増えるように取り組んでください。

目 標	地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる
概要・方向	① 地域社会の力を活かした活動の充実 ② 地域社会による学校支援活動の充実 ③ 子どもの健全育成のための環境づくり
成果・課題	・学校と地域の協働による「京のまなび教室」を通して、障がいのある子どもも一緒になって参加する体験活動や学習活動を推進した。 ・学校における学習活動、安全確保、環境整備等で活躍する地域ボランティアと連携し、「学校支援地域本部」事業の充実に努めた。 ・地域の読書ボランティアの協力を得て、子どもの読書に対する興味や関心を高めるための取組を進めた。 ・学校やPTAとの連携強化及び青少年育成委員会や関係諸機関との連携により、子どもの健全育成のための環境づくりを進めた。
自 己 評 価	A
評価委員の意見等	・各地域の団体との連携活動により、子どもたちの健全育成の環境づくりが大切である。 ・地域ボランティアを活用した様々な事業を体験することは、学校の授業では体験できないことであり、大いに参加していただき、子どもたちの自発性、人と人との絆の大切さを学んでほしい。

目 標	生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる
概要・方向	① 地域の力を活かした生涯学習環境の充実 ② 生涯スポーツ環境の充実 ③ 生涯学習施設との連携及び指導者の養成
成果・課題	・「かさぎ・まなび塾」、「あそび塾」や「Ya! まなび club」など地域の特色を活かした体験活動の充実に努めた。 ・子どもから大人まで生涯にわたってスポーツに親しむための学校体育施設の開放、地域指導者等との連携によるスポーツ指導の充実を務めた。 ・子どもたちの体験活動・学習活動を充実させるため、町村（広域連合）立の社会教育、生涯学習関連施設等の積極的な活用を進めた。
自 己 評 価	A
評価委員の意見等	・学校のクラブ活動は生涯スポーツの基礎となるが、少人数のためできないことがあり一番の危惧を感じています。 ・地域住民対象の生涯学習事業は充実されているが、地域での指導者養成事業も検討されたい。体育指導委員も高齢になっている中で実際の指導がされていないように思う。世代交代をして若者が指導できる体制、活用の見直しが必要と思われる。

目 標	生涯学習の振興
概要・方向	① 住民のニーズや現代社会に対応した学習活動の充実 ② 生涯学習における指導者の養成と確保 ③ 社会教育委員会議をはじめとする社会教育関係団体等との連携 ④ 社会教育施設等の機能を充実させ、効果的に活用 ⑤ 生涯学習における学びのネットワークづくりの整備・充実 ⑥ 生涯にわたってスポーツに親しむ「生涯スポーツ社会」の実現
成果・課題	・生涯学習振興のための住民ニーズの把握に努めるとともに、乳幼児・青少年教育・成人教育事業、高齢者いきいき事業など、生涯の各時期に応じた学習機会の充実と3町村の住民交流を進めた。 ・多様な学習ニーズや現代的課題に対する学習活動の設定や学習プログラムの編成ができる指導者を養成するため、社会教育主事及び関係職員の研修の充実に努めた。 ・青少年育成委員会、文化・体育協会など生涯学習の充実に重要な役割を担う社会教育団体に対する適切な支援と助成を行った。 ・各図書室の施設整備の充実、連携による利用者の拡大を進めた。 ・高齢者いきいき事業として開催されている「笠置さわやか会」及び「やまなみ大学」の一層の充実に向けた支援を続けるとともに、和東町社会福祉協議会との共催による「和東町高齢者講座」を開催した。 ・成人教育の住民ニーズに応えるため、本年度から「大人も WakuWork 体験事業」を本格的に実施し、一層の住民交流を進めた。 ・「きらめき女性学講座」、「大人の英会話教室」を連合事業として定着させるとともに、神戸女子大学「旅する公開講座」の受講対象者を3町村住民に広げた。 ・「子どものスポーツ交流会」、「ウォーキング大会」及び「スキー教室」を実施し、スポーツを通じた住民交流を進めた。 ・和東町スポーツクラブ事業として、3町村住民を対象とした「テニス教室」、「バドミントン教室」及び「フットサル教室」を実施した。
自己評価	A

評価委員の 意見等	・生涯学習は健康が第一ですので、検診を受けることや食育に関しての健康講座等が基礎となると思う。 ・事業内容は、参加対象年齢や場所等それぞれ工夫して行われているが、参加人数にバラつきがある。子どもや高齢者向けの講座は多いが、中間年齢の講座が少なく、参加数も少ないように思う。 ・南山城村のお話会は、全12回実施されているが、参加数が述べ123人である。保育園との共催にするなど工夫されたい。 ・パパスタ講座は、父親の育児参加を促進するという目的でよいと思うが、参加増となるよう駐車場等も考慮の上、事業を継続されたい。 ・大人も WakuWork 体験事業が連合教育委員会のホームページに写真入りで報告されている。ホームページを見た人は参加したいと思う気持ちになることから良いと思う。他の事業もこのような報告があれば住民の関心、興味も高まるので、ホームページの一層の活用を期待します。 ・3町村における“その町村ならではの”の事業については、引き続き実施されることが望ましいと考えます。 ・「大人もワクワク体験学習」が本格的に実施されるなど、新たな交流が始まることは大変望ましいことです。住民への周知に一層の工夫を加え、連合教育委員会の代表的な事業となるように努めてください。 ・限られた予算配分の中で、生涯学習事業が実施されており、担当者の苦勞を察します。公費負担と自己負担を明確に区分し、趣味的なものについては、参加者負担とすることが望ましいと思います。 ・広報誌などを活用して多くの生涯学習事業が紹介されていますが、3町村の住民参加は、内容によって偏る傾向があります。開催場所などの問題もありますが、同一事業を年々、開催場所を変えることも一案と思います。 ・連合後においても、「笠置さわやか会」や「やまなみ大学」が盛大に続いていることは大変良いことです。今後、「和束町高齢者講座」の参加者拡大に取り組んでください。 ・少ない職員数の中で、分室職員の苦勞に敬意を表します。
----------------------	--

目 標	家庭の教育力の向上
概要・方向	① 子育てに関する各種講座を充実させ、親の学習活動を支援 ② 保護者同士の交流、地域の人との関わりを軸に、サポート体制を強化 ③ 家庭における読み聞かせなど読書活動を推進
成果・課題	・各小学校PTAが主体となって、就学前児童の保護者を対象に「親のための応援塾」を開催し、子育ての悩みや不安解消、家庭の教育力の向上を図った。 ・地域相談サロンである「ほっとサロン」を開設し、保護者同士の交流機会の提供と相談活動の充実に努めた。 ・父親のための「子育て講座」を開催し、父親の育児参加、家庭教育参加を促す取組を進めた。今後、引き続き、家庭の教育力を高める取組及び参加者の拡大が必要である。 ・連合事業として「親子ふれあい教室」「サンタが街にやってくる」を定着させ、子どもたちが「周りから包み込まれているという感覚」を実感できる機会の提供に努めた。 ・図書室の「おはなし会」を通じて、幼児期からの読み聞かせの重要性について啓発するとともに、家庭における読書習慣の確立に向けた取組を進めた。今後、参加者の拡大に向けた取組が必要である。
自己評価	B
評価委員の意見等	・親子の交流が大切であり、例えば、竹トンボ・カヌー・スキー・凧作り・駒回しや飛行機作り等、自然を利用した遊びが大切である。 ・子育てに悩みを持っている保護者が増えてきていると聞きます。今後も、関係部局や団体などと連携して、父親・母親の子育て不安の解消に向けて取り組んでください。

目 標	地域社会の教育力の向上
概要・方向	① 家庭・学校・地域の連携を強化し、社会総がかりで子どもをはぐくむ ② 地域力再生に向けた取組の推進 ③ 地域の文化や歴史に触れ、ふるさとを愛する心を養う ④ 学習成果を活かす場や機会の提供
成果・課題	・地域住民がボランティアとして学校教育に携わる「学校支援地域本部」事業を充実強化し、学校と地域の協働による「社会総がかりで子どもをはぐくむ教育」を推進した。 ・家庭、学校、地域住民等の連携による「子ども見守り活動」により、子どもの安心・安全な環境整備を進めた。 ・京のまなび教室（かさぎ・まなび塾、あそび塾、Ya!まなびclub）の合同開催による豊かな体験活動・学習活動を通じて、3小学校の児童間交流を進めた。 ・地域交流事業として、3町村住民を対象とした「宵待ち隣町の宵涼み会」を開催し、文化活動の交流と住民交流を促進した。 ・文化財保護委員会とともに、3町村の文化財の保護・調査及び積極的な活用を図るため、引き続き、文化財実態調査を行った。 ・3町村の歴史と文化についての理解を深めるため、文化財保護委員による研修会や地域住民を対象にした「ふるさと歴史講座」を開催するとともに、文化財愛護や郷土を愛する心の育成、地域の文化財を次代へ引き継ぐための普及啓発の在り方について検討した。 ・生涯学習・社会教育における学習の成果を活かす場の提供や支援を行った。
自己評価	A
評価委員の意見等	・子どもたちが積極的に地域学習をして、笠置小学校ではオープンスクールで発表をすると同時に、3町村で交流を深めてほしい。 ・団塊の世代が元気に地域で活躍されているが、生きがいくくりとして、自発的に学習活動ができる環境があれば、毎日、生き生き、元気に楽しく、第二の人生を過ごすことができる。また、その力を地域の活性化や子どもや高齢者等のボランティア活動にも活かされてくる。きっかけづくりや仕掛けを提供してください。

目 標	人権教育の推進
概要・方向	① 同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を深める ② 実践につながる自発的な学習活動の促進 ③ 人権をテーマにした取組を工夫し、住民への啓発に努める
成果・課題	・生涯学習の視点に立って、生命の尊さ、個性の尊重、他人との共生など人権尊重の理念や、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、患者等といった様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会の充実に努めた。 ・あらゆる人権問題の解決に向けた学習活動の活性化を図るための、社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上に向けた指導者研修の充実に努めた。 ・人権月間を中心としたイベントや街頭啓発、啓発パネルの展示等による人権啓発活動の充実に努めた。 ・管内各地域での学習活動を効果的に推進するため、笠置町同和教育推進協議会や和東町人権教育推進協議会などの団体と連携した総合的な取組を進めた。今後、学習会、研修会等への参加者の拡大に加え、人権啓発事業を通じた3町村の住民交流を促進する必要がある。
自 己 評 価	B
評価委員の意見等	・思いやる心が大切であり、大人が先ず学習して実践することが第一であり、今後とも推進すべきである。 ・重大な児童虐待事件が年々増加しています。保育所、小学校及び中学校の保護者を対象に「生命の大切さ」についての研修会を実施してください。